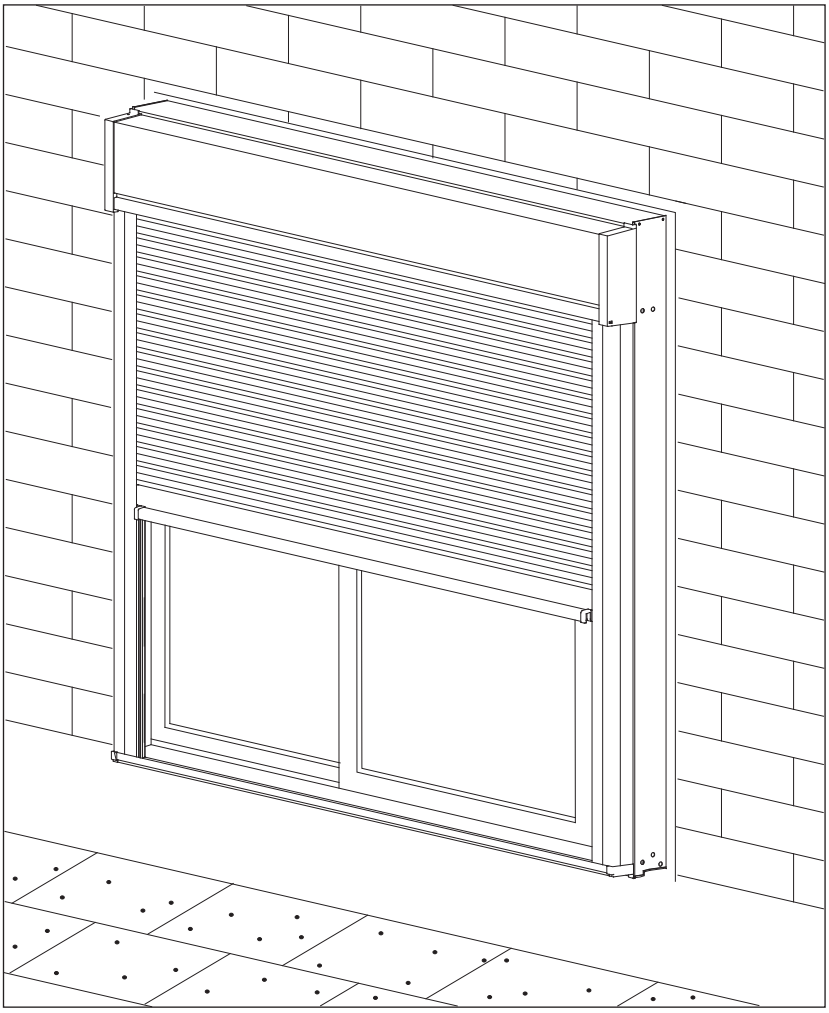
説明書番号　　MNT-1030 改-2

〈お客様用〉

『アルプラクラス』・『アリッツ』

スチール手動タイプ シャッター

取扱説明書



ご使用のお客様へ

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
わからないことや不具合が生じた時にはもう一度ご覧ください。
また、いつでも使用できるように大切に保管してください。

⚠ 安全にお使いいただくために

●シャッターのご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、理解してからご使用ください。

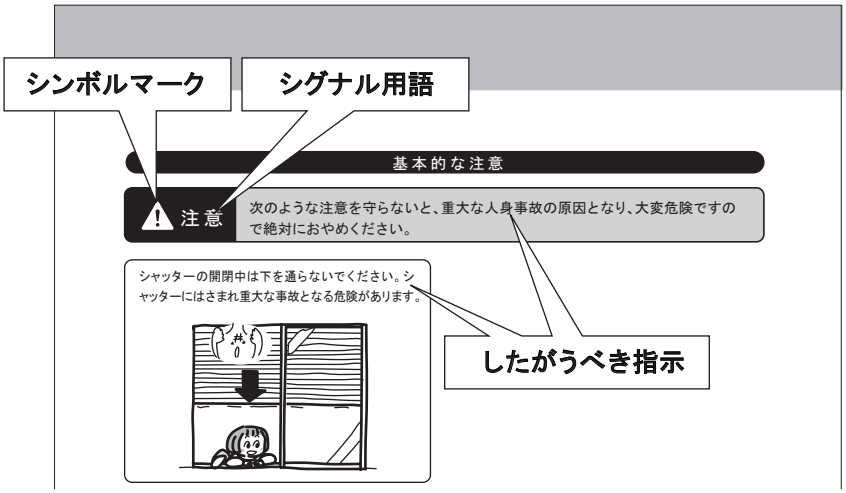
●本取扱説明書では、安全にご使用いただくために特に大切な「お知らせ」には、次のようなシンボルマークとシグナル用語を使用しています。

⚠注意

取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第3 者が、軽傷を負うか、または物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合。

本文では以下のように使用します。

「シグナル用語」に続く指示を十分守らないと、人身事故につながることになります。



目　　次

1. ⚠ ご使用上の注意
　基本的な注意……1
2. 製品の概要
　各部の名称とそのはたらき……2
3. ご使用方法
　開閉操作方法……3
4. お手入れ方法……4
5. 製品保証について……5

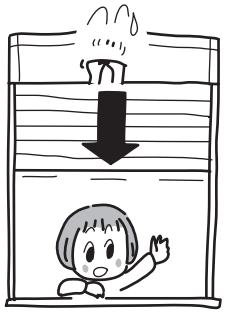
1. ⚠ご使用上の注意

●この章に記載されている内容をよくお読みいただき、完全に理解したうえでシャッターをご使用ください。
●この取扱説明書は、必要なときにいつでも取り出してお読みいただけるよう大切に保管してください。
●シャッター屋内側に貼付けされている開閉操作ラベルと、この取扱説明書すべての注意および指示にしたがってください。

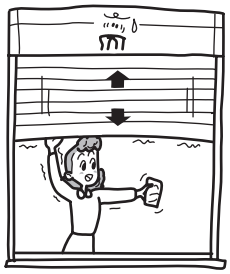
基本的な注意

⚠ 注意　**次のような注意を守らないと、ケガや故障の原因となりますので注意してください。**

シャッター開閉中は、顔や手を出したりシャッターの下に物を置いたりしないでください。シャッターにはさまれてけがをする恐れがあります。特にお子さまにはご注意ください。

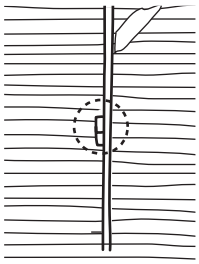


シャッターの急な開閉は故障の原因になりますので、幅木の中央付近を持ってゆっくりと上げ(開)下げ(閉)をしてください。



シャッターの分解、改造は絶対にしないでください。分解、改造が原因で事故になる恐れがあります。

おやすみまたは外出の際は、防犯上、内側のサッシの錠をかけてください。また、強風時にも同様、内側サッシの錠をかけてください。

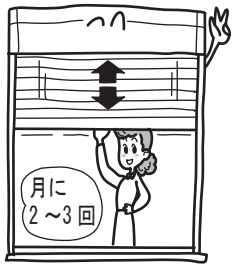


シャッターボックスは変形しやすいので、はしごをかけたり上に乗ったりしないでください。
落下してけがをする恐れがあります。

シャッターには、故意に物をぶつけたりしないでください。
変形して動かなくなる恐れがあります。

雪が積もったり、氷結した状態で使用しますと故障の原因となりますので取り除いてからご使用ください。

常時シャッターを使用しない場合でも少なくとも1ヵ月に2～3回は開閉してください。
長期間動かさないとスムーズに動作しなくなります。



2．製品の概要

各部の名称とそのはたらき

本体外観

シャッターボックス

巻き込んだスラットを収納します。

スラット

シャッターの扉本体です。上げ（開）下げ（閉）により開閉します。

幅　木

スラット最下部に付き錠を内臓しています。

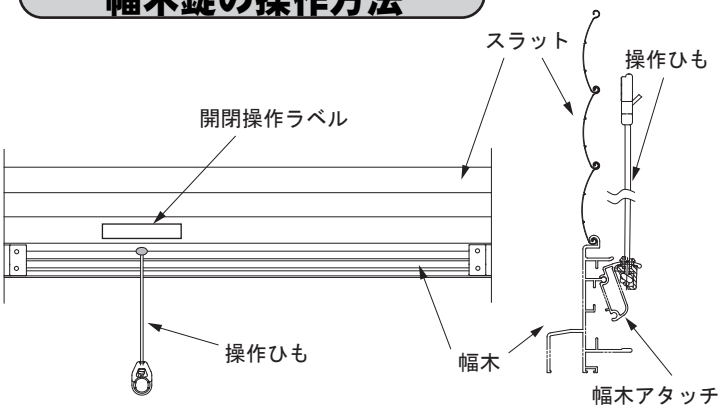
ガイドレール

スラットの左右の端を支持し、開閉時の案内をします。

サッシ障子

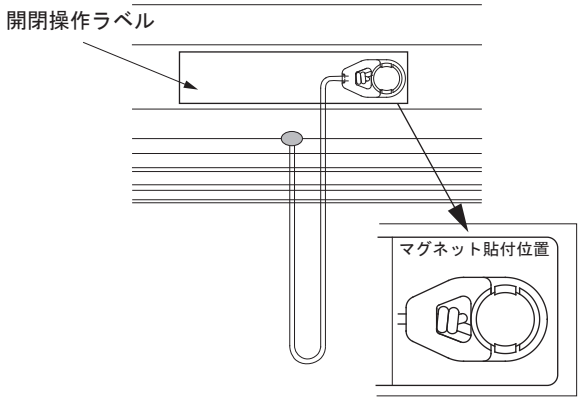
サッシ枠

幅木錠の操作方法



シャッターを下まで完全に降ろすと、自動的に施錠されます。（施錠音がするまでさげてください。）また、手で幅木アタッチを上方向に引き上げるか、操作ひもを上部に引くと解錠されます。

シャッターを開ける時のお願い



操作ひものマグネット部を「マグネット貼付位置」以外に貼付けたままシャッターを巻上げないでください。幅木に手が届かない場合などに、操作ひもを引いて下降させる（閉じる）ことができなくなります。

シャッターを開ける（巻上げる）時は操作ひものマグネット部を開閉操作ラベルの「マグネット貼付位置」に貼付けてください。

3．ご使用方法

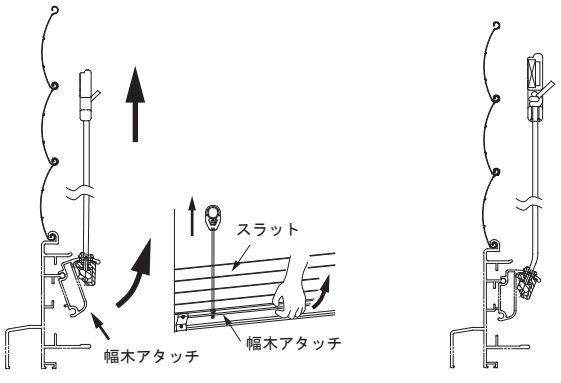
開閉操作方法

開ける時

1　錠を開ける

手で幅木アタッチを上方向に引き上げるか、操作ひもを上部に引くと解錠されます。

シャッターの解錠時　　シャッターを閉じた状態



幅木の断面図

（閉じた状態では、操作ひもをスラットに貼付けておくと便利です）

2　幅木の中央部側を持って、ゆっくりと持ち上げてください。

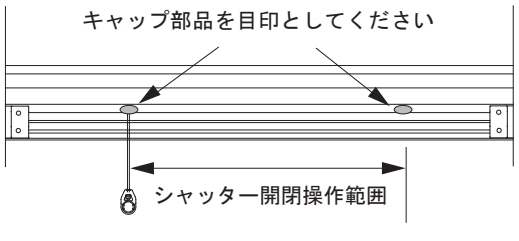
※幅木の端部を持って開閉すると作動不良の原因につながります。正しい使い方でシャッターを開けてください。

※急に開けるとシャッターが動かなくなる場合があります。その場合は、いったんシャッターを下までゆっくり降ろして、再度ゆっくりと上げてください。

閉める時

1　幅木の中央部側を持ってゆっくりと降ろしてください。

操作範囲の目安

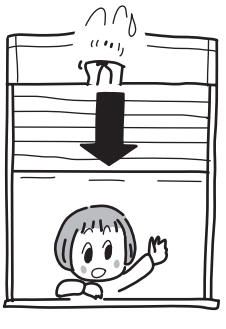


※幅木に手が届かない場合は、操作ひもを引いてください

※幅木の端部を持って開閉すると作動不良の原因につながります。正しい使い方でシャッターを閉じてください。

2　シャッターを下まで完全に降ろすと自動的に施錠されます。（施錠音がするまで下げてください）

※シャッター開閉中は、顔や手を出したりシャッターの下に物を置いたりしないでください。シャッターにはさまれてけがをする恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。



4.　お手入れ方法

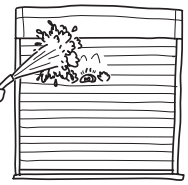
清掃の仕方

●シャッターはいつもきれいに清掃しておくことが腐食せずに長持ちさせる一番の方法です。

①柔らかい布で水ぶきをし、表面の汚れを拭き取ります。
②中性洗剤等で汚れを拭いて頂ければ、さらに長持ちします。

③硬い物で強くこすると表面に傷がつき、そこから錆やすくなりますのでご注意ください。

④シャッターボックスの中に直接ホース等で水をかけての清掃は、故障の原因となりますので止めてください。



清掃の間隔

●清掃は下記の基準をめやすとし、定期的に行ってください。

①臨海工業地帯
（京浜・中京・京阪神）……毎月1回
②海岸地帯 ……毎月1回
③工業地帯……2ヵ月に1回
④大都市地帯……2ヵ月に1回
⑤中小都市地帯……3ヵ月に1回
⑥田園地帯……4ヵ月に1回

日常点検

⚠ 注意

日常点検で不具合を発見したら、ただちに使用を止めてください。

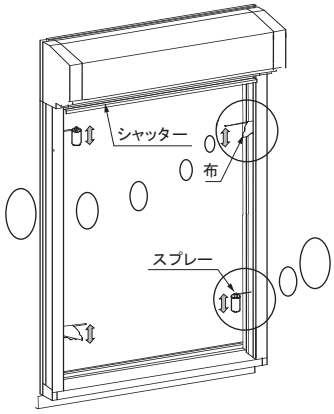
シャッターの開閉状態については以下の事項を確認してください。
●今までと違った異音がしないこと。
●今までと違った振動がしないこと。
●外観に使用上有害な変形がないこと。

シャッターのお手入れ

下記のような場合、シャッターのお手入れをお願いします。
1）シャッターの開閉が使用するうちに重くなってきた。
2）シャッターを開閉する時に音がする。
・原因として、レール内に砂埃等が入り、スラットのすべりが悪くなっている事が考えられます。下記の方法にて、お手入れしてください。

お手入れ方法
①シャッターを全開して、レール内の砂埃を布等にて拭き取ってください。
②レール内にシリコンスプレーのノズルを入れ、レール全体に（上から下まで）スプレーをしてください。
③スプレー後にスラットの開閉を2～3回行い、スラットとレールにオイルをなじませてください。

※粘性の高い潤滑材は、砂埃等が付着しやすくなりますので、シリコンスプレーを使用してください。



5．製品保証について

本手引きは、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理をお約束するものです。
保証期間中に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は最寄りの当社支店・営業所に修理をご依頼ください。

■保証期間

施工者より商品の引き渡し日（注１、注２）から起算して次の期間とします。

① 商品の不具合については２年間（電装部品については１年間）。

② 商品からの雨水浸入については10年間。（但し、窓が閉まっていて施錠状態に限ります）

注１）改修工事の場合は改修部分の工事完了日を起算日とします。

注２）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主への引渡し日を起算日とします。

■保証内容

本手引き、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがありますが、これは商品上の特性であり、不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を超えて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出ることです。（但し、窓が閉まっていて施錠状態に限ります）

■免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有償修理となります。

① 当社の手配によらない第三者の加工上、組立て上、施工上、管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合。（例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、工事中の養生不良による変色や腐食など）

② 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所（店舗など）に取付けられた場合の不具合。

③ 商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。木製品の反り、干割れ、変色など）や経年劣化（樹脂部分の変質、変色など）又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合。

④ 自然環境や住環境に起因する結露などの不具合。

⑤ 環境が特に悪い地域や場所での腐食又はその他の不具合。（例えば、海岸地帯での塩害による腐食、大気中の砂塵・煤煙・各種金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯機などの排気ガスなどが付着しておきる腐食、異常な高温・低温・多湿による不具合など）

⑥ 天災その他不可抗力（例えば）暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により、商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。

⑦ 実用化されている技術では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合。

⑧ 犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害による不具合。

⑨ 植栽による不具合。（例えば、商品に隣接した植栽による開閉障害、根による防水層の破損など）

⑩ 引渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合。

⑪ お客様自身の組立て、取付、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合。

⑫ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。

⑬ 犯罪などの不法な行為に起因する不具合。

■その他事項

保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

本手引きによってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理、その他についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問合せください。

新日軽　株式会社 LIXIL

トステム・INAX・新日軽・サンウエーブ・東洋エクステリアは、2011年4月1日より、
株式会社LIXILとしてお客さまの多様なニーズに対応した商品とサービスを提供してまいります。

会社や商品についての情報のご確認は、下記ホームページまで

http://www.lixil.co.jp/